

算

令和3年度の町の決算です。
町が行っている事業は、
皆さんが納めた税金や、
国・県からの支出金などでまかなわれています。
決算は、このお金が皆さんの暮らしやまちづくりの中で、
どのようにいかされてきたかをまとめたものです。
では、町の家計簿のあらましを見てみましょう。
※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。



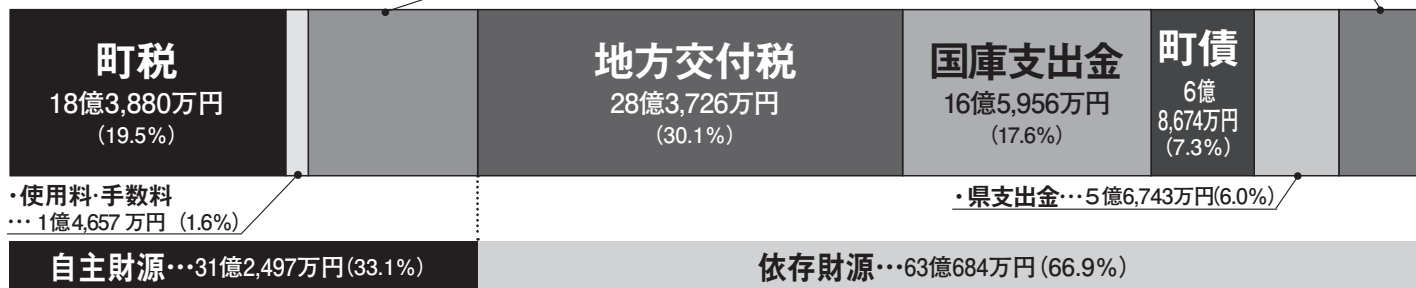
一般会計

収入 94億3,180万円

INCOME

・その他(財産収入・分担金及び負担金・繰越金・繰入金・諸収入等)・・・11億3,960万円(12.1%)

・その他(地方譲与税・地方消費税交付金等)・・・5億5,585万円(5.9%)



住民サービスの向上と新たなニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、財源の確保に努め財政の健全化を図っています。

一般会計の収入総額は、94億3,180万円です。収入は、自主財源と依存財源に分けることができます。

自主財源は、町税や使用料・手数料、財産収入、繰越金、繰入金など、町が独自に収入した財源で、令和3年度は31億2,497万円。そのうち町税は18億3,880万円で、収入全体の19.5%を占めています。

依存財源は、地方交付税や国・県からの支出金、町債などで今年度は収入全体の66.9%を占めています。このうち収入全体の30.1%を占める地方交付税(全国各市町村の財政力のバランスを取るために国から配分されるお金)は28億3,726万円、国からの支出金は16億5,956万円、県からの支出金は5億6,743万円、町債(道路や公園、学校など町が行う建設事業などの資金を調達するために国などから借り入れるお金)は6億8,674万円となっており、依存財源による収入は63億684万円となっています。

地方債の残高

令和3年度の鞍手町の決算における地方債(借金)の残高は次のとおりです。

○地方債残高

会計の名称	令和2年度末残高 ①	令和3年度借入額 ②	令和3年度償還額 ③	令和3年度末残高 ①+②-③※
一般会計	79億8,460万円	6億8,674万円	9億990万円	69億3,823万円
地方独立行政法人くらて病院貸付金等特別会計	33億1,137万円	45億4,920万円	1億2,701万円	77億3,356万円
鞍手町水道事業会計	8億3,258万円	0円	5,861万円	7億7,396万円
鞍手町下水道事業会計	37億7,646万円	2億6,420万円	2億3,046万円	46億3,341万円

※一部の地方債を一般会計から下水道事業会計に移しています。

まちづくりの基本となる第5次総合計画（後期）に基づき、 限りある財源の効率的な運用に努めました。

令和3年度はどんな事業にお金を使ったのでしょうか。一般会計の支出総額は、88億5,530万円です。町民1人当たり57万3,790円が使われたこととなります(令和3年4月30日現在人口15,433人)。

支出は、使われるお金の目的によって総務費や民生費、土木費などに分けられています。このうち最も大きな割合を占めているのが民生費で、障がい者の自立支援費に5億8,656万円、介護保険広域連合への負担金として2億9,645万円、重度障がい者や子ども、ひとり親家庭などの医療費補助に9,667万円、子育て世帯への特別給付金に2億2,761万円使いました。また、総務費では、庁舎等建設費に4億1,210万円、衛生費では、新型コロナウイルス感染症対策（予防接種など）に1億6,332万円使いました。

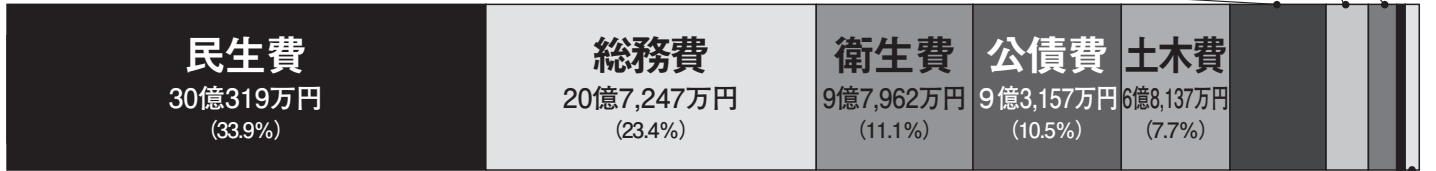
決



88億5,530万円 支出

EXPENDITURE

一般会計



・農林水産業費…1億7,934万円 (2.0%)
 ・教育費…5億9,787万円 (6.8%)
 ・消防費…2億6,544万円 (3.0%)

・商工費…5,456万円 (0.6%)

・その他(議会費・災害復旧費)…8,987万円 (1.0%)

項目別支出内訳

民生費

- 障がい者の自立支援に(5億8,656万円)
- 介護保険広域連合負担金に(2億9,645万円)
- 重度障がい者や子ども、ひとり親家庭などの医療費補助に(9,667万円)
- 児童手当に(2億1,745万円)
- 老人保護措置の委託に(1,065万円)
- 社会福祉協議会への補助金に(3,288万円)
- 地域包括支援センター事業費に(3,103万円)
- 子育て世帯への特別給付金に(2億2,761万円)

総務費

- 庁舎等建設費に(4億1,210万円)
- ふるさと納税の推進に(6億3,250万円)
- コミュニティバス等・路線バスの運行維持に(4,196万円)
- 定住促進奨励金に(2,816万円)
- 戸籍等のコンビニ交付サービス導入に(2,629万円)

衛生費

- ごみや尿の処理に(3億5,049万円)
- くらで病院の負担金に(2億7,136万円)
- 予防接種の業務委託に(3,333万円)
- 母子保健対策に(1,785万円)
- 新型コロナウイルス感染症対策(予防接種など)に(1億6,332万円)

教育費

- 小中学校、高校の新型コロナウイルス感染症特別対策事業に(847万円)
- 歴史民俗博物館別館建設事業費に(4,490万円)
- 幼稚園利用給付事業に(2,933万円)
- 学校給食減免措置費に(1,535万円)

土木費

- 下水道事業の補助に(2億2,249万円)
- 道路や橋の新設や整備に(2億3,641万円)

- 河川の整備に(720万円)

- 町営住宅の維持管理に(6,816万円)

消防費

- 直轄広域消防の負担金に(2億4,263万円)
- 消防団の運営などに(1,400万円)

商工費

- 中小企業等への支援金の給付に(238万円)
- プレミアム付地域振興券発行に係る補助に(3,395万円)

農林水産業費

- 多面的機能支払事業に(3,325万円)
- 水田農業DX推進事業に(1,138万円)
- スマート農業推進強化事業費に(925万円)
- 水路やため池の整備に(3,023万円)

財政健全化判断比率と資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、毎年度、市町村の財政状況に関する指標を報告することが義務付けられています。令和3年度の鞍手町の財政状況に関する指標は次のとおりで、健全化基準を超えている会計はありません。

○財政健全化判断比率

単位：%

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
鞍手町の比率	—	—	8.4	なし
早期健全化基準	14.93	19.93	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし

※ (—) 表示は黒字

○公営企業の資金不足比率

単位：%

企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.00
下水道事業会計	—	20.00

※ (—) 表示は資金不足なし

実質赤字比率…一般会計等の赤字から財政運営の深刻度をみる比率／連結実質赤字比率…町のすべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

実質公債費比率…借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率／将来負担比率…町が抱える負債の残高から将来の財政への危険度をみる比率

資金不足比率…資金の不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

特別会計 (収入) 70億5,615万円 (支出) 69億6,117万円

一般会計のほかには、特別会計と企業会計があり、どの会計も私たちの暮らしを支えるために役立っています。

国民健康保険事業特別会計

▷収入…19億8,054万円 ▶支出…19億1,236万円

自営業の人や退職者などの医療費を給付する会計です。主な収入は、保険税と県支出金。主な支出は、医療費や県に納める事業費納付金などです。

●対象者 2,388世帯 3,703人 ●1人当たりの医療費 402,017円



後期高齢者医療特別会計

▷収入…2億7,495万円 ▶支出…2億7,415万円

平成20年度から始まった75歳以上の人が加入する後期高齢者医療制度を運営するために設けられた会計です。県内のすべての市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、町と協力して制度運営に当たっています。令和3年度の対象者は、2,904人です。



住宅新築資金等特別会計

▷収入…163万円 ▶支出…163万円

旧同和地区の住宅環境を改善するための会計です。収入は、貸付金の回収金。支出は、一般会計への繰入金です。



かんがい施設維持管理運営費特別会計

▷収入…8,884万円 ▶支出…6,284万円

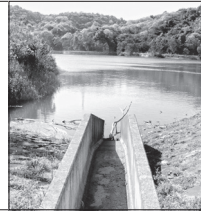
町内11か所に設置されているポンプの維持管理をするための会計です。収入は、財産運用収入や運営基金からの繰入金などです(令和3年度は、利息等1,142万円を積み立てています)。支出は、運転手の手当やポンプの維持管理費です。



谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計

▷収入…967万円 ▶支出…967万円

農業用水を確保するために室木の谷山池から倉坂地区まで約13kmにわたって設置されているパイプラインを維持管理するための会計です。収入は、財産運用収入や運営基金からの繰入金などです(令和3年度は、利息等84万円を積み立てています)。



地方独立行政法人くらて病院貸付金等特別会計

▷収入…47億52万円 ▶支出…47億52万円

地方独立行政法人くらて病院(旧町立病院)への貸付金などを管理するための特別会計です。収入は、町が直接借り入れる町債や町債の償還に関してくらて病院から受け取る負担金です。支出は、町が借り入れた町債をくらて病院に貸し付ける貸付金や町債の元利償還金などです。



企業会計 (収入) 7億5,577万円 (支出) 7億2,942万円

水道事業会計

▷収入…3億3,698万円 ▶支出…3億2,878万円

水道事業の運営のために設けられた会計です。収入の大部分は、私たちが支払った水道料金です。支出は、安全な飲み水を作るための費用です。

●給水戸数 6,606世帯 ●給水人口 13,608人



下水道事業会計

▷収入…4億1,879万円 ▶支出…4億64万円

下水道事業の運営のために設けられた会計です。収入の一部は、私たちが支払った下水道使用料です。

●水洗化人口 5,879世帯 ●普及率 55.78%



※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。